ビレッジの会

社会福祉法人のゆり会 のぞみワークショップ
保護者会 ビレッジの会 機関紙 第１号（2021 年７月）
〒292-0201　千葉県木更津市真里谷 2422
TEL 0438-53-7697　FAX 0438-53-7698
http://nozomi-village.com/workshop

社会福祉法人のゆり会理事長　津田　望

ビレッジの会　機関紙第一号発行　おめでとうございます！

ワークショップに通う利用者の方々の保護者会として「ビレッジの会」が発足したのは、ワークショップが開設して間もなくでした。現在の藤城会長さん、藤田副会長さん、そしておやじの会の高石会長さんが中心となって設立してくださいました。その目的は、子どもたちが成人して通所施設に通っても、グループホームに入っても、生涯に渡り伸びしろのある発達を願って、またどのようにそれを保障するかをみんなで考えましょう！同時に、保護者自身の人生をより豊かにし、一人の人として幸せな人生を送ることの権利とは何なのかを、みんなで考え実現しましょう！ということでした。今回は、その保護者会の機関紙第一号発行ということです。本当に嬉しく感謝の気持ちでいっぱいです。

私は、障がい児・者、そしてその保護者との長いお付き合いの最終段階として、グループホームの設立を２０年前に計画しました。保護者やお子さんたちが、年を取り必ず別れの時が来る、その時に絶対に悲しく不安な状態でいて欲しくない、という強い思いからでした。そして今年の５月「のぞみホーム」が完成しました。現在７名の入居者が親元を離れ、毎日楽しくホームで過ごしています。ワークショップの送迎で、昼間はそこでお仕事をしたりセラピーを受けたりしています。そして夜には帰宅し、みんなで食卓を囲み、時にはお誕生会をしたり、ゲームをしたり、またお部屋で自由に過ごして就寝する。そして週末は帰宅する方も、またホームで過ごす方もおられます。週末にホームで過ごされる方は、世話人の方とショッピングをしたりお出かけをしたりしています。

このホームでは、重度な方も受け入れたい、また入居者が老いても、できるだけ長くここに住んで欲しいという願いがあり、お風呂場には機械浴を入れ、エレベーターを設置し、車椅子が交差できる広い廊下など多くの条件を盛り込みました。現在すでに身体的に重度な方も入居されていますが、毎日大好きなお風呂を心待ちにして、車椅子でニコニコして入浴しています。

今後はそのホームの隣に、パン屋さん建設の計画をしています。入居者が年を取って一日中ホームにいなくてはいけなくなっても、隣のパン屋さんで気分転換ができたり、また毎朝の朝食は、朝一番に焼いてくれたホカホカの最高のパンをお出しできるようにしたいと考えています。

親 90 才子 70 才でも一緒に過ごす、そして保護者が「あなたが亡くなった５分後に私は死にたい」と何度唱えても、それは叶うはずがありません。保護者は老いて入院するかもしれない、病気になるかもしれない、寝たきりになるかもしれない・・そんな不安ばかりの中にいるより、本人も保護者も、元気なうちに気に入ったホームを探し、お互いに自立した人生を歩み、親亡き後も心配せずに、保護者は楽しい老後を過ごし、お子さんの老後も安定して過ごすこと、これが両者にとってウインウインの人生ではないですか？

そんな親子の楽しそうに笑って人生を送っている姿を想像しながら、私も幸せになってニコニコしています。

２０２０年度　活動

親睦会

新型コロナの影響で例年より少し遅れて 10/９に行い、新会員１名を含む 12 名の会員が参加しました。保護者有志のサークル“リリーズ”によるミュージックベル演奏後、趣味・癒し・チャレンジの中から選んだ内容で自己紹介をしました。のぞみ先生からはグループホームのお話や子どもの自立には親も自立（子離れ）し、兄弟にはたっぷりの愛情をかけることなどのお話を伺いました。短い時間でしたが、久しぶりに集まった会員の皆さんは楽しい時間を過ごし、のぞみ先生からは大変貴重なお話を伺えて、内容の濃い会となりました。

ゴスペルフラダンス教室

花の木会と合同で 2019 年 11 月から始め、2020 年度は 4 回行いました。ゴスペルフラダンスは神様を賛美する歌詞を手の動きで表現し、音楽に合わせてゆっくりと体を動かします。曲の歌詞がとてもステキで、踊りながら開放感を感じ、癒しホルモンが増えていくことが実感できます。サークル名は「P(プリティー)☆キャッツ」、心も身体もしなやかであり続けられるよう楽しく活動しています。いつからでも参加可能です。ご参加をお待ちしています。

のぞみワークショップで毎週金曜日に行われている創作活動と掃除や帰りの会などの見学をさせていただきました。見学会を行うことが難しいため、役員のみで見学しましたのでご紹介します。

● 創作活動

職員の宇野先生が中心にご指導してくださり、来月のカレンダー作りや季節にちなんだ製作をして、ワークショップの壁面に飾っています。今回は秋のリース作りです。まず手順表にそって分かりやすいようにマカトンサインつきで説明をされ、工程の中で下地は折り紙を貼るのか、色を塗るのかなど利用者さんの要望を聞きながら進めていきます。やってはいけないことをなくし、ハサミが使えない人は手で切ってもいいなど、楽しんで好きなことをすることで集中力や達成感を感じることができるように工夫されていました。明るく元気な先生の声かけに利用者の皆さんは質問など気軽にされていて、また職員さんたちは一人一人をよく見て、その方のペースに合わせて時間内に終わるようにお手伝いされていました。利用者の皆さんは秋を感じる可愛いイラストにとても嬉しそうに作成し、慣れた様子で落ち着いて取り組み、個性的な素[illegible]た。[illegible]活動の[illegible]様子が伝わってきました。

● 掃除の時間

時間になると各自担当の場所にさっと移動して、しっかりと行います。列になってモップがけをしている姿がカルガモの親子の行列のよ[illegible]

● おやつの時間

本日のおやつは柿とパンケーキ♪バジルチーズ味とココア味です。皆さん楽しみにしていて待ちきれない様子です!!活動時間に利用者さんが職員さんにご指導頂いて作りました。心のこもった手作りおやつをいただけるのは幸せですね。

● 帰りの会

日直があいさつをした後、施設長から今日の出来事と明日の予定のお話があり、利用者さんと職員さんのピアノ連弾に合わせて「のぞみワークショップの歌」と「もみじの木の下で」をマカトンサインつきで全員合唱して、さよう[illegible]を[illegible]

半日の見学でしたが、色々な活動にセラピーの要素が感じられ、多くのことを学んでいる姿を見ることができました。子どもたちが充実した生活を送れていることを感じ、心より感謝申し上げます。

活動の詳しい内容についてはホームページをご覧ください。(のぞみワークショップ HP から検索ください)

ビレッジおやじの会より

2020 年度は雨で延期になることが多かったですが、3回環境整備を行いました。草刈機と鎌を使っての作業に分かれて行います。利用者の方も一緒に頑張ってくれました。また職員のご家族もお手伝いくださり、当日参加できない方は別の日に作業をしてくださったりと皆様のご協力、大変感謝しています。利用者の皆さんが過ごしやすい環境づくりのためにこれからもご協力どうぞよろしくお願いいたします。

例年のような活動ができず、活動を再開した時の皆さんの明るい表情が印象的で活動意義をあらためて感じた一年でした。お忙しい中、原稿を寄せてくださったのぞみ先生に感謝しております。初めての機関紙発行となり、保護者の方にステキな会のマークを作って頂きました。これからも会員の皆様と共にのぞみビレッジの発展のためサポートをしていきたいと思います。会長 藤城